



令和8年5月1日

報道関係 各位

名古屋市立大学 研究開発課
課長 西村 宏久
電話：052-853-8639

名市大独自の若手研究者への支援事業 「Meishi Initiative」を開始しました

名古屋市立大学なごや先端研究開発センターでは、この度、なごや共創研究基金を活用した新たな事業として、「Meishi Initiative(特に研究力が優れており志がある若手研究者への支援事業)」を開始しました。この事業は、特に研究力が優れており志があると認められる独立前後の若手研究者の研究活動に必要な支援をすることで、次世代の研究者育成を推進し、本学全体の研究力を強化することを目的としています。

この度、令和8年4月から6名の若手研究者への支援を行うことを決定いたしました。今後も定期的に学内公募を行い、より多くの若手研究者への支援を行う予定です。

(参考：[本学ホームページ](#))

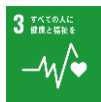
スタート 支援金	研究スタートアップなど	最大200万円 (研究課題開始年度のみ)	
研究 支援金	研究の推進 研究時間の確保 など	最大500万円	
施設 利用料	研究スペースの確保	最大300万円	
本人 人件費	ポストの確保	本学規程による	

※本人人件費は、公立大学法人名古屋市立大学職員就業規則の適用を受ける教員ではない研究者のみ

■支援内容

若手研究者が独立した研究者として研究課題に取り組むことを支援するため、本人人件費を含め、一人当たり**最大4,600万円の支援を行います。**

対象経費は、研究の立ち上げに必要な環境整備や研究スペースの確保に要する経費、ならびに研究の推進や研究時間の確保に資する研究補助員・事務補助員の人件費等です。



■支援対象

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施している「**創発的研究支援事業**」に採択されるなど、国などの競争的研究費による外部資金の継続した獲得が予定されている若手研究者※

※「博士号取得後 15 年以下」等の経験要件を満たす者とする

※JST の「創発的研究支援事業」について

特定の課題や短期目標を設定せず、多様性と融合によって破壊的イノベーションにつながるシーズの創出を目指す「創発的研究」を推進するため、既存の枠組みにとらわれない自由で挑戦的・融合的な多様な研究を、研究者が研究に専念できる環境を確保しつつ原則 7 年間（途中ステージゲート審査を挟む、最大 10 年間）にわたり長期的に支援する事業。

■令和8年4月からの支援対象者

No.	所属	氏名	主な研究テーマ
1	医学研究科	野村 洋	人工海馬による記憶・学習能力の創発
2	医学研究科	岩田 欧介	新生児の痛み・苦痛を客観定量する簡便なモニタリング法の確立
3	医学研究科	濱田 太立	特発性全身性毛細血管漏出症候群（クラークソン病）の診断検査および治療開発に向けたエビデンス創出研究
4	薬学研究科	矢木 宏和	タンパク質に組み込まれた糖鎖修飾コードの解明と糖鎖修飾制御
5	薬学研究科	矢木 真穂	クマムシタンパク質が切り拓く乾燥耐性超生体組織の創成
6	なごや先端研究開発センター	加藤 耕治	リサイクル異常症という新規病態概念確立と治療法開発

■問い合わせ先

担当：名古屋市立大学 研究開発課

電話：052-853-8639